



玄海中学校区小中一貫教育通信

「玄海学園」

令和元年7月2日(第36号)

遅い梅雨入りとなりましたが、蒸し暑い日々が続いています。学園では、現在1学期末に向けてまとめの学習に入っているところです。気持ちよく夏休みを迎えるためにも、子ども達には、体調を整え、最後までしっかり頑張ってもらいたいものです。ご家庭や地域でもご協力をよろしくお願いいたします。

○令和元年度の「玄海学園」がめざす小中一貫教育(続き) その③

教育目標「社会の一員としてよりよく生きる子どもの育成」達成のために・・・



「**兼務授業**」や「**出前授業**」を通して、小・中間を繋いだ教育活動を充実・発展させる取り組みを進めていきます。

兼務授業



「兼務教員」として発令された中学校教師が小学校で授業を行い、小・中間の授業交流を深めます。

出前授業



中学校の教師が地島小を訪問し、島の小学生が日頃体験できない専門教科の授業を行います。

子ども達の、より効果的で充実したな学びのために「**ICT** 機器」を活用した学習を積極的に推進していきます。



「ICT」とは・・・Information and Communication Technology の略で、コンピュータやネットワークに関連する「情報通信技術」のことです。

学校では主にパソコンや様々な電子機器を活用し、大画面による映像や音声等を駆使しながら、多くの教科や特別活動等で、効果的で分かりやすいように工夫された授業が行われています。



全ての子ども達に「分かる」「できる」「楽しい」授業を！ 玄海学園「授業研究会」を開催・・・各小中学校



6月4日（火）から17日（月）にかけて、玄海学園の各小中学校において、授業研究会が開催されました。当日は、玄海学園で学ぶすべての児童生徒に確実な学力を身につけさせるための授業のあり方を求めて、それぞれの学校で代表授業と協議会を行いました。

今回は、各教科や総合的な学習の時間等において「対話的な活動」を取り入れながら「分かる・できる・楽しい」授業のあり方を、全教職員で追究してきました。

どの学校でも、さまざまな学習形態の中で、子ども達の真剣に学ぼうとする姿をたくさん観ることができました。

その後行われた協議会では、授業についての反省や、今後の研究の進め方等についての活発な協議が交わされました。学園では、今回の研究会の成果と課題を明らかにし、さらにより良い授業づくりを目指して行きたいと考えています。



各小中学校で「小中合同あいさつ運動(第1回)」を実施！



学園では、平成28年度から4校合同で取り組んでいる「ラブ玄海プロジェクト」の一環として「小中合同あいさつ運動」を進めています。本年度も第1回を6月17日（月）から21日（金）までの5日間、全校で実施しました。玄海小と玄海東小では、中学生も一緒に「おはようございま〜す。」と大きな声であいさつを交わしていました。

また、地島小では、今年も地域や保護者の方々の協力で、毎日賑やかに子ども達を出迎えていただくことができました。



放課後学習支援事業「ブリッジ」開校！（地島小学校）

放課後の子ども達の学習を支援するため、宗像市教育委員会が4年前から進めている放課後学習支援事業「ブリッジ」の開校式が、6月14日（金）、地島の泊地区にある「地島ふれあい館」で行われました。

この事業は、福岡教育大学の学生さん達が交代で島に泊まり込み、子ども達に学習指導を行ってくれるもので、来年の3月まで、長期休業中などを除き、毎月2回程度、島内2か所を使って実施される予定です。

当日は、宗像市教育委員会からのあいさつの後、早速、学習が始まり、子ども達はちょっと緊張気味でしたが、3人の学生さん達と楽しそうに、放課後の学習に励んでいました。

